

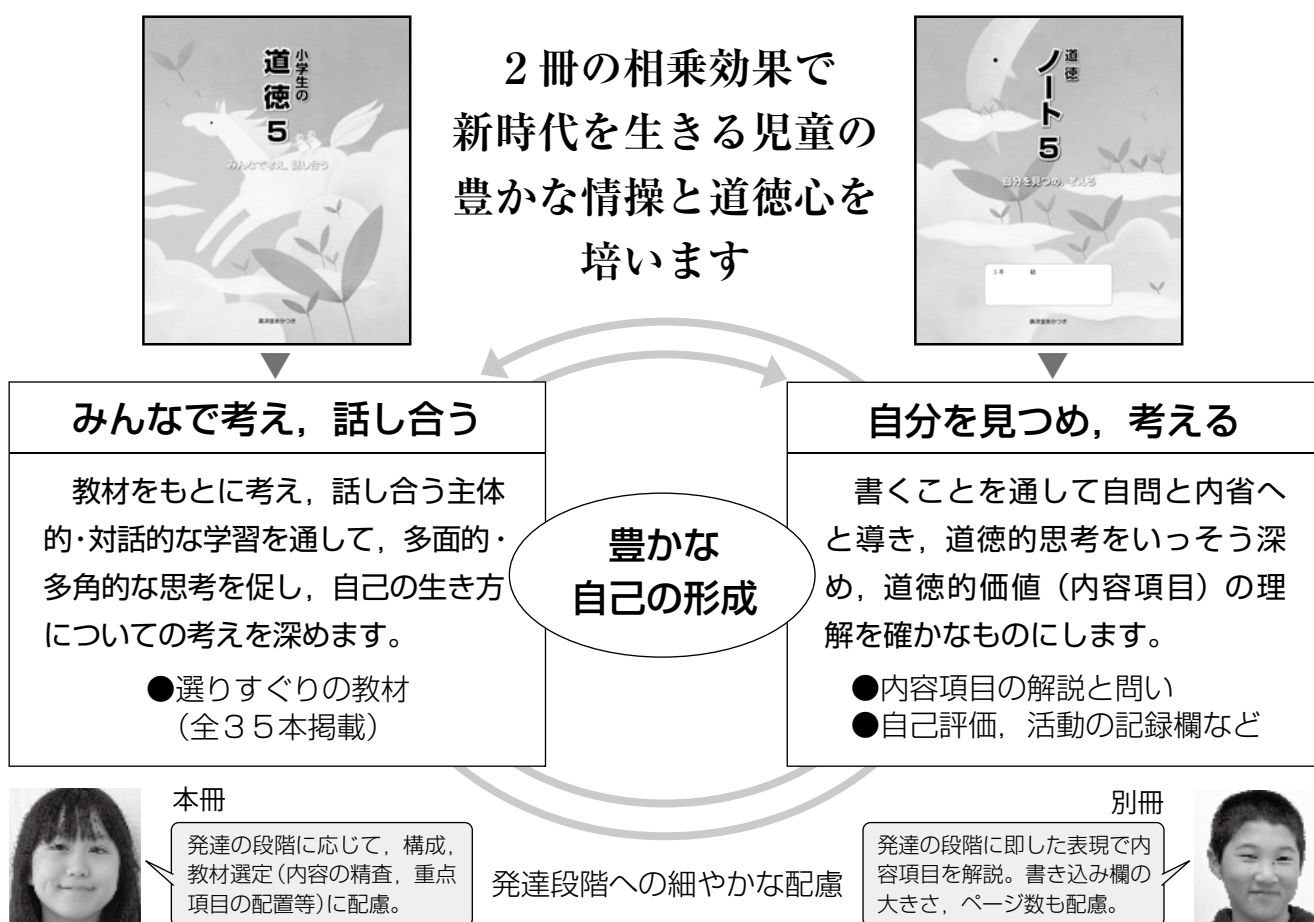
編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-132	小学校	道徳	道徳	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 510 道徳 511	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5 自分を見つめ、考える 道徳ノート5		

1 編修の基本方針

教育基本法第2条に示される教育の目標を達成するため、本教科書は以下を基本方針として編修しました。



ノート別冊には、理由があります

- 児童の学習状況や授業の進め方に応じて、活用のタイミングを図れます。
 - ▶ 授業の事前・事後、導入・終末、その他(学校行事など児童の体験や各教科との関連等)の機会に応じて、弾力的な活用が可能です。
- 提出が容易で、児童の心の成長が見えます。
 - ▶ 別冊ゆえに提出が容易で、随時、児童の学習状況を教師が確認できます。記述からは、児童の心の状態や成長が見て取れ、その後の指導や評価に生かすことができます。

○一冊がまるごと児童の「心の記録」になります。

▶教科書使用終了後も、ノートはその学年の心の記録として各自で保管します。自己を振り返って、自分の考えを比較したり成長を実感できるものとして、次学年以降も折に触れて活用することができます。



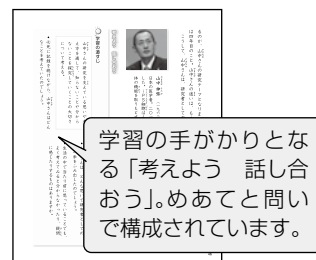
—— 活用性・管理性・保存性・記録性に優れた別冊方式

(1) 豊かな情操と道徳心とを培う本冊と「道徳ノート」(第1号)

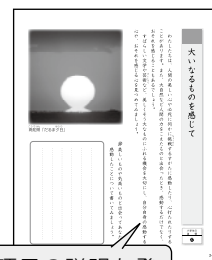
本冊では、各教材ごとに学習の手がかりとなる「考えよう話し合おう」を配置し、児童の主体的な思考、積極的な話し合いを促す構成としました。みんなで考え、話し合う協働的な学習により、児童は、他者の多様な感じ方や考え方に触れることができ、多面的・多角的なものの見方や考え方へとつながる新たな視点を得ることができます。

また、道徳ノートは、内容項目別に構成することで学習内容(道徳的諸価値)を明確化しました。児童は、教師の指示に沿って授業の事前・事後、あるいは授業の導入・終末などに別冊ノートを活用することにより、道徳的諸価値への理解が深まり、効果的にねらいに迫ることができます。

児童の学習状況や体験や各教科との関連、教師がイメージする授業の進め方や展開等に応じ、2冊を柔軟に活用することで、豊かな情操と道徳心を培うことができる教科書です。



学習の手がかりとなる「考えよう話し合おう」。めあてと問いで構成されています。



各内容項目の説明を発達の段階に即した表現で示してあります。

(2) 発達の段階に即した、魅力あふれる35時間分の教材があります(第1~5号)

インターネットを使用して、関わりのある情報を活用することができる教材には、**インターネット**のマークを記載しています。



すべての学年において、年間の配当時数分の教材を掲載しました(第5学年35教材)。各学年の発達の段階を考慮した、児童が興味をもって「学びたくなる」選りすぐりの教材群から、自主自律、責任、正義、勤労、生命や自然環境、伝統文化、国際平和などの大切さ、素晴らしさを楽しく学ぶことができます。

問題意識をもち多様に考えることができる教材、自己の体験や経験に照らして考えることができる教材、悩みや葛藤、心の揺れなど人間らしさが理解できる教材、よりよく生きる喜びや勇気、感動を与えられる教材を厳選しています。

(3) 命の教育を重視します(第4号)

本教科書は、特に「生命尊重」に重点をおき、編修しました。内容項目「生命の尊さ」は、最大時間数(年間3時間)を配当し、重点的に学べるよう2時間連続で配置しています。また、第5学年では、命の教育の一環として、命について様々な側面から考える特集「命とは、生きるとは、どういうことなのだろう」を設けています。

2 対照表

本教科書本冊及び別冊の構成・内容と教育基本法第2条の各号との対照は以下の通りです。第1号に示される「道徳心を培う」については、全内容に該当することから、各々への表示は省略しました。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
詩／わたしと小鳥とすずと	高学年への進級の自覚を高めるとともに、自己肯定感がゆらぐ成長期にあって、児童一人一人が個人の能力を信じ、その価値を尊重する気持ちをもとと励ます詩を掲載しました。【第1号】	前見返し表	
道徳の時間はこんな時間	第5学年における道徳の時間のオリエンテーションとして利用できます。豊かな情操と道徳心を培う道徳の時間を、自分の成長を支える時間であると呼びかけ、主体的、協働的に学び、自己形成の糧になる時間であることを確認します。【第1号】	p.1～3	
道徳ノート	「今の自分を見つめて」の書き込み欄があります。【第1号】	巻頭	
自分自身に関すること	自律的で責任ある行動を 本冊教材番号 4 9 17	「4うばわれた自由」では本当の自由を考え、「9金曜日の班活動」は学校生活の事例を通して、「17だれも知らないニュース」では情報モラルの視点から、自律的な判断と責任ある行動を考え、自主自律の精神を養います。【第1・2号】	4 p.16～20 9 p.38～41 17 p.66～70
	道徳ノート	ピタゴラスの箴言から、自由と自律の関係について考えます。【第2号】	p.1
	誠実に明るいい心で 本冊教材番号 15 20	「15かすみのハンカチ」「20妹のカード」の2編では、同世代の主人公の内面の葛藤を通して、真理を求める態度とも関わる誠実な生き方について考えを深めます。【第1号】	15 p.60～63 20 p.80～83
	道徳ノート	「誠」の意味から、偽りのない生き方について考えます。【第1号】	p.2
	節度を守り、 節制に心がけて 本冊教材番号 6 33	健やかな身体と心の発育に必要な日々の心がけについて、「6流行おくれ」では主人公の生活から問題を見出し、「33だれにでもある、こんな心」では発達の段階から陥りがちな生活習慣の乱れについて、自己の振り返りを促します。【第1・2号】	6 p.24～27 33 p.138～141
	道徳ノート	自己の振り返りを通し、健やかな生活の実践意欲を高めます。【第1・2号】	p.3
	短所を改め、長所をのびして 本冊教材番号 8	「8グラウンドにひびく声」では、自分の特徴をよさとして生かそうとする主人公の変容を捉え、個人を尊重する気持ちをもって、その能力を伸ばしていこうとする意欲を引き出します。【第2号】	8 p.33～37
	道徳ノート	自分の特徴を活かすことについて考え、自分を伸ばす意欲を高めます。【第2号】	p.4
	より高い目標に向かって くじけずに 本冊教材番号 7 30	「7イチロー選手のグローブ」と「30ヘレンとともにーアニー・サリバン」の2編では、より高い目標へ向かうくじけない心について学びます。また、創造性を生かして自己の能力を発揮する生き方を捉えます。【第2号】	7 p.28～32 30 p.126～129
	道徳ノート	あこがれの人物を挙げ、目標達成を目指す生き方について考えます。【第2号】	p.5
真理を大切に、 探究心をもって 本冊教材番号 10	「10はじめての実験ー山中 伸弥ー」では、真理を探究する態度や創造的な生き方について、考えを深めます。「科学者の姿勢から」では、湯川秀樹博士の言葉なども紹介し、児童の好奇心を引き出します。【第1・2号】	10 p.42～46 p.47	
道徳ノート	身近にある便利なものを調べて、好奇心や創造性を養います。【第1・2号】	p.6	
人々の関わりに関すること	相手の立場に立って 親切に 本冊教材番号 2 21 25	「2バスと赤ちゃん」、「21ちゃんとやれよ、健太」、「25くずれ落ちただんボール箱」の3編のエピソードを通し、相手の立場に立つことの大切さを考え、社会の形成を支えている他を思いやる心について気づきを促します。【第3号】	2 p.7～9 21 p.84～85 25 p.102～105
	道徳ノート	親切な行為の難しさについて、自問と内省を促します。【第3号】	p.8
	支え合いや助け合いに 感謝して 本冊教材番号 12	「12小さかったお返し」は、おじいさんの心遣いとそれを深く受け止める筆者の心を通して、感謝の念について考え、相手を敬愛する態度を養い、他者と協力して社会を形成していく自覚を高めます。【第3号】	12 p.52～53
	道徳ノート	自分自身の体験を振り返り、感謝の念を深めます。【第3号】	p.9
	礼儀正しく 真心をもって 本冊教材番号 16	「16礼儀作法にこめられた心」では、幅広い知識や教養の一つとして礼儀や作法を身につけ、相手を敬愛する心の大切さについて考えるとともに、伝統と文化を尊重する精神を養います。【第1・3・5号】	16 p.64～65
道徳ノート	礼儀のよさを考える問いから、その意味について考えます。【第3号】	p.10	
友達とたがいに信頼し、 学び合って 本冊教材番号 3 29	「3章太と孝治ー二つのえがおー」では男女に共通する友情を、「29友のしょう像画」では友情のすばらしさについて考えることを通して、自他の敬愛と協力や男女の平等を重んずる態度を育てます。【第3号】	3 p.10～15 29 p.121～125	
道徳ノート	友達がどのような存在なのかを自問し、敬愛の念を深めます。【第3号】	p.11	

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
けんきょに、 広い心をもって 本冊教材番号 14	道徳ノート	「14半助の投あみ」を通して、異なる立場を尊重することについて学び、他者と協力して社会を形成していく上で不可欠な、寛容な心や態度を養います。【第3号】	14 p.56～59
		相互理解に必要なことを挙げる書き込み欄を設けました。【第3号】	p.12
法やきまりを守って 本冊教材番号 5 22	道徳ノート	「5法やきまりはだれのもの」では規則の意義を考え、権利と義務にも言及します。「22ぼくは伴走者」では友情と規則の狭間で揺れる主人公の葛藤を捉える問題解決的な学習を通して、遵法について考えます。【第3号】	5 p.21～23 22 p.86～90
		自分の権利と義務について考える書き込み欄を設けました。【第3号】	p.14
公正、公平な態度で 本冊教材番号 13	道徳ノート	「13魚の世界」では、いじめの実態を例に、どこに問題があるのかを考えます。正義と責任、自他の敬愛の念、協力の重視などの大切な事柄が欠如していることに気づきを促し、その原因を探っていきます。【第3号】	13 p.54～55
		不公平さを乗り越える心について考える書き込み欄を設けました。【第3号】	p.15
公共のために 役立つことを 本冊教材番号 28	道徳ノート	「28牛乳配り」の主人公の仕事を通して、社会が支え合いで成り立っていることを確認し、勤労の意味について考え、主体的に社会の形成に参画する意識を高めます。【第2・3号】	28 p.118～120
		家の人に働くことについて話を聞く活動があります。【第2号】	p.16
家族の幸せを求めて 本冊教材番号 18 31	道徳ノート	「18ぼくの名前よんで」「31ごめんね、おばあちゃん」の2編から、家族が愛し合い、支え合う姿に触れて、家族に対する敬愛の念を深め、協力して家庭を築いていこうとする意欲を培います。【第3号】	18 p.71～75 31 p.130～133
		自分の家族に対する思いや役割を振り返る書き込み欄を設けました。【第3号】	p.17
よりよい学校、 学級を求めて 本冊教材番号 34	道徳ノート	取り壊される学び舎への思いをこめた児童作文「34木造校舎の思い出をむねに」では、学校という集団と自己との関わりについて考え、集団への帰属意識を高めて、主体的にその形成に参画して発展に寄与することの意味について考えを深めます。【第3号】	34 p.142～143
		所属集団と役割について考え、その発展に寄与する態度を養います。【第3号】	p.18
伝統と文化を大切にし、 国や郷土を愛して 本冊教材番号 19 32	道徳ノート	「19日本のよさを知って」では日本の自然や文化に関する写真から、「32時計台の鐘」では町のシンボルの修復にかけた人々の思いから、国や郷土の伝統や文化を尊重し、その発展に寄与する態度を養います。【第5号】	19 p.76～79 32 p.134～137
		国や郷土のよいところを具体的に想起する書き込み欄を設けました。【第5号】	p.19
世界の中の日本人として 国際親善に努めて 本冊教材番号 35	道徳ノート	「35明日をひらく橋—西岡京治—」と「西岡京治さんの残したもの」で他国の発展に力を尽くす日本人の姿を通して、他国を尊重する態度や、国際社会における日本人としてのあり方について考えを深めます。【第5号】	35 p.144～148 p.149
		自分の関心のある国についての書き込み欄を設けました。【第5号】	p.20
自他の生命を尊重して 本冊教材番号 1 23 24	道徳ノート	「1自分の番 いのちのバトン」では生命の連続性について学びます。「23その思いを受けついで」「24明日もまた生きていこう」及び「ゆみかへ」では2時間連続による重点的な学習を通し、生命の有限性と同時にかけがえのなさへの気づきを促し、生命尊重の思いを深めます。【第4号】	1 p.4～6 23 p.91～95 24 p.96～100 p.101
		「命を大切に生きていく」ことを、家の人と考える活動があります。【第4号】	p.22
自然の偉大さを知って 本冊教材番号 11	道徳ノート	「11—ふみ十年」では、美しい自然とそれを育んできた時間の長さへの気づきを通して、情操を豊かにするとともに、自然環境保全に寄与する態度を養います。【第1・4号】	11 p.48～51
		自然を大切にすることの意義について考える書き込み欄を設けました。【第4号】	p.23
大いなるものを感じて 本冊教材番号 27	道徳ノート	「27百—さいの富士—奥村 土牛—」では、「大いなるもの」と併せて学習することを通し、土牛画伯の執念の筆さばきが描く絵画の奥深さや、大いなる自然への畏敬を感じ取りながら、豊かな情操を培います。【第1号】	27 p.112～115 p.116
		自己の感動体験についてふり返り、豊かな情操を養います。【第1号】	p.24
生きる喜びを感じて 本冊教材番号 26	道徳ノート	「26銀のしょく台」では人間が本来的にもち合わせているよりよく生きようという気高い心について気づきを促します。この心が人生を豊かにするための基盤である道徳心そのものであることに思いをはせ、自己の生き方へ反映しようとする意欲を培います。【第1号】	26 p.106～111
		人間の良心に関する箴言から、その大切さについて考えを深めます。【第1号】	p.25

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
命とは、生きるとは、 どうということなのだろう	ものごとを抽象的に理解することができる段階であることから、生命の偶然性、連続性、唯一無二性、有限性といった多面性を示し、生命を尊重する意義について様々な角度から考えられるよう構成を工夫しました。【第4号】	p.150～151
わたしたちにできる ボランティア活動	高学年になり、他者の視点に立って人の役に立つことを具体的に考えることができる段階で、ボランティアについての知識を身につけ、ともに生きる社会の中で自主的な活動を促すことをねらいとして構成しました。【第2・3号】	p.152～153
守ろう インターネットの 世界のルールやマナー	自律的に行動し、情報機器を介したトラブルや犯罪を防ぐための特集です。インターネット上にある危険を知り、家の人とともに対策を考える構成になっています。【第1・2・3号】	p.154～155

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) ワイドで見やすい AB 判

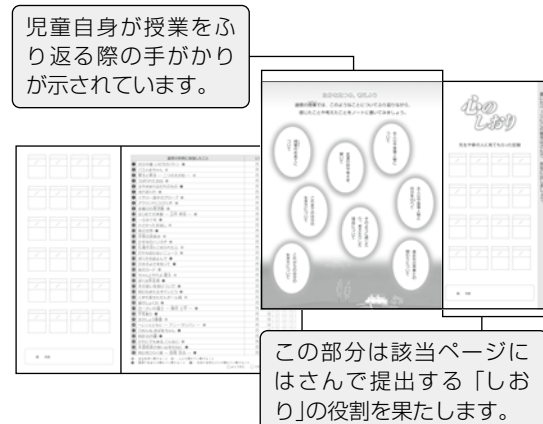
判型は本冊，別冊ともに AB 判を採用し，紙面にゆとりをもたせ，圧迫感のない構成を心がけました。見やすさ，読みやすさを重視して白を基調とした紙面に，発達の段階に応じて文字の大きさや分量，イラスト配置を工夫し，ワイド判によるビジュアル面の利点を生かしました。

(2) 表記・構成上の工夫

- ①道徳科の教材は，児童の読み取りに差異が生じないことが前提と考え，だれもが内容を正確に理解できるよう，当該学年の配当漢字を含む未習の漢字については，ページ初出のみならず，すべてにルビ（ふりがな）を配しました。
- ②別冊の授業の記録欄を巻末に整理・統合することで，大きくりなまとまりで児童の学習が見取りやすくなるよう配慮しました。

(3) 利便性の高い「心のしおり」

別冊巻末に折り込みとして，学習の自己評価やふり返りとなり，教師や家の人の確認の履歴にもなる「心のしおり」を用意しています。今次改訂では，児童の発達の段階に応じた表現で，児童自身が授業をふり返る際の手がかりにすることができる文言を掲載しました。



(4) 用紙選定，印刷上の配慮

- ①環境への配慮から本冊，別冊ともに印刷には植物油インキを使用し，本冊は，発色のよさ，見やすさを重視した再生紙を，別冊は，鉛筆での書きやすさ，消しやすさを重視した再生紙を使用しました。
- ②別冊は授業の記録欄を巻末に整理・統合することでページ数の削減を図るとともに，用紙をより軽いものに変更することで，以前より2割強の軽量化を実現し，児童の持ち運びの際の負担軽減に努めました。

(5) 特別支援教育，ユニバーサルデザインへの対応

色覚の違いにより学習に支障をきたすことのないよう，色の識別のみによらず，文字情報をはじめマークの形状やデザインの違いなどで必要な情報が読み取れるように配慮しました。なお，カラーユニバーサルデザインは，専門の第三者機関に検証を依頼し，CUD 認証マークの取得を予定しています。

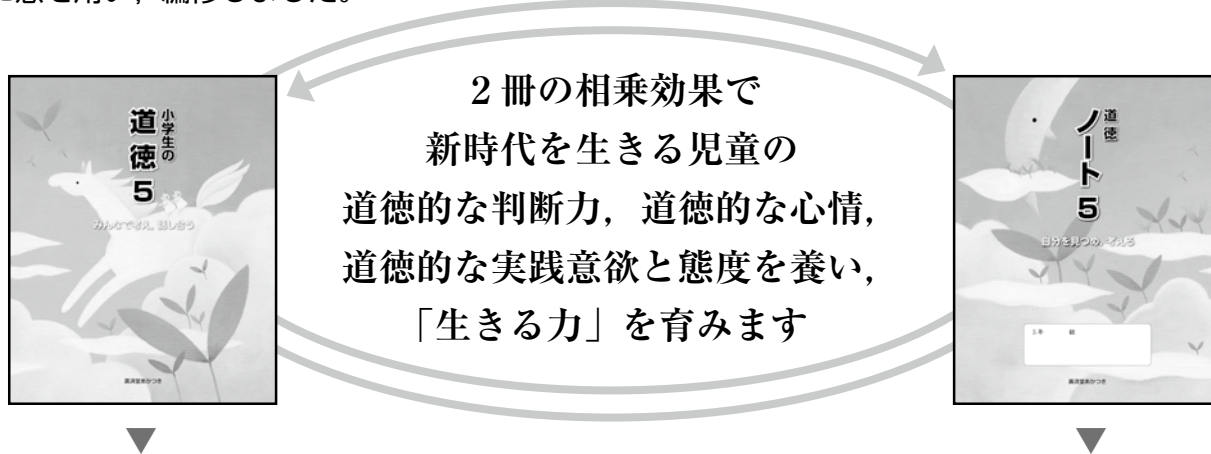
編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-132	小学校	道徳	道徳	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 510 道徳 511	みんなで考え, 話し合う 小学生の道徳5 自分を見つめ, 考える 道徳ノート5		

1 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示される教育の方針, 道徳科の目標を達成するため, 本教科書は以下の点に特に意を用い, 編修しました。



本冊 小学生の道徳5

【内容】

- 発達の段階に応じた選りすぐりの教材
- 教材別「考えよう 話し合おう」
 - ・教材をもとに考える問い
 - ・自己に照らして考える問い
- その他 (特集, 詩, 内容項目一覧など)

【特色】 みんなで考え, 話し合う

教材をもとに考え, 話し合う主体的・対話的な学習を通して, 多面的・多角的な思考を促し, 自己の生き方についての考えを深めます。

【主な言語活動】 読む, 話す, 聞く

別冊 道徳ノート5

【内容】

- 内容項目 (道徳的諸価値) の解説
- 内容項目に準じた問い
- 授業で活用できる書き込み欄
- 心のしおり (自己評価, 提出記録など)
- その他 (特集, 活動の記録欄など)

【特色】 自分を見つめ, 考える

書くことを通して自問と内省へと導き, 道徳的思考をいっそう深め, 道徳的諸価値 (内容項目) の理解を確かなものにします。

【主な言語活動】 読む, 書く

授業の事前・事後, 導入・終末など, 児童の学習状況や教材のタイプ, 教師がイメージする授業の進め方, 展開等に応じて, 適切な機会に別冊を活用することで, 児童の道徳的諸価値の理解や道徳的思考の深まりをより効果的に促すことができます。

本冊の特色

みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5

(1) 魅力あふれる多様な教材 (全35本)

名作から新しい作品まで幅広く掲載し、現代的な課題を含むものや問題解決的、体験的な学習活動を促すものまで、多様な教材を取りそろえました。

第五学年	教材の題材	該当する教材番号	教材の性質	該当する教材番号
	生命の尊厳	①, ⑲, ⑳	問題解決的な学習を促す	④, ⑤, ⑥, ⑧, ⑨, ⑬, ⑮, ⑰, ⑳, ㉒, ㉑, ㉓
	自然	⑪, ⑲, ㉑	道徳的行為に関する体験的な学習を促す	①, ②, ③, ⑤, ⑥, ⑨, ⑪, ⑬, ⑮, ⑰, ⑳, ㉒, ㉑, ㉓
	伝統と文化	⑬, ⑲, ㉑		
	先人の伝記	㉑, ⑳, ㉓		
	スポーツ	⑦, ⑧, ㉒, ㉑, ㉓		
	情報化への対応 (情報モラル)	⑰, ㉑		
その他の現代的な課題	食育=⑲, ㉓ / 健康教育=㉓ / 消費者教育=⑥ / 福祉に関する教育=⑬, ㉒, ㉑, ⑳, ㉑ / 法教育=⑤ / 社会参画に関する教育=⑤, ㉑ / 国際理解教育=⑲, ㉓ / キャリア教育=⑦, ⑩, ㉑ / 社会の持続可能な発展=⑪, ㉓ / 人権・いじめに関する教育=⑨, ⑬, ⑮			

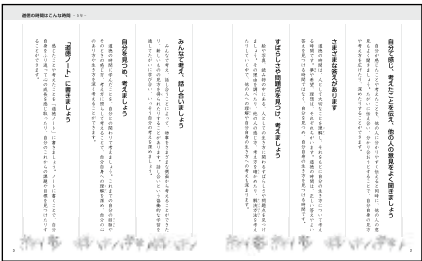
第五学年では、教材と関連し学びを深める特集（●で示すページ）を4編設けています。また、巻末には、現代的な課題に関わる「生命尊重」、「ともに生きる社会」、「情報モラル」について考えるページを特設しました。折に触れて、各教材と併用することができます。

(2) 発達の段階に応じた、重点項目と教材配置の工夫

学年の重点項目には、最大時間数（年間3時間）を配当し、より重点的に学べるよう一部は2時間連続で配置しています。

第五学年	重点項目		該当する教材番号
	A	善悪の判断, 自律, 自由と責任	④, ⑨, ⑰
	B	親切, 思いやり	②, ㉑, ㉓
	D	生命の尊厳	①, ⑲, ⑳

* ㉑, ㉓は2時間連続配置



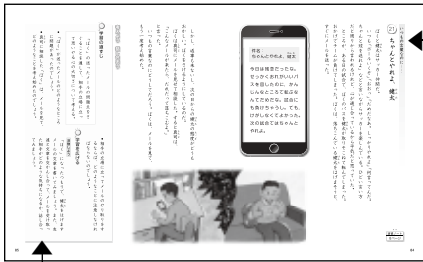
●道徳の時間はこんな時間

道徳の時間の学習について、発達の段階に応じた表現で解説しています。授業開き(オリエンテーション)に活用できます。

(3) 児童の主体的な学習を促す「考えよう話し合おう」

児童が学習の見通しをもって自ら課題意識や問題追求への意欲を高め、主体的に学習に取り組めるよう、教材ごとに学びの手がかりとなる「考えよう話し合おう」を設けました。

発達の段階を考慮し、低学年では教材をもとに考える問いや自己に照らして考える問い（各教材につき2問）を掲載することにとどめていましたが、中学年及び高学年においては、それらの問いに加えて、学習のめあてを示すことで、



●考えよう話し合おう

めあてと発問によって「学習の道すじ」を示し、児童の主体的な学習と道徳的思考を促します。

●教材に応じて教師の指導に役立ち、児童が興味をもつ学びのヒントを示しました。

児童をより具体的な道徳的思考へと導くための工夫をしました。児童は、めあてと問いによって、おおまかな「学習の道すじ」を把握することができます。

また、いくつかの教材には、「学習を広げる」と題し、教材に関係した知識理解や道徳的諸価値のさらなる深まりを促す内容（人物や本の紹介、格言など）、主体的・対話的な学習を促す内容（役割演技、調べ学習など）を掲載しています。

別冊の特色 自分を見つめ、考える 道徳ノート5

(1) 道徳的諸価値（内容項目）の確かな理解を促す解説

道徳ノートは、それぞれの内容項目（道徳的価値）についての解説を掲載しています。児童の発達段階に応じて表現を工夫し、端的に分かりやすく示しました。この解説を読むことで、児童は学ぶべき道徳的諸価値の理解を確かなものに行うことができます。

どのタイミングで扱うかは、教師の判断にゆだねられます。児童の実態や教材のタイプ、教師がイメージする授業展開等により、いかようにも活用できることが、内容項目の解説を読み物等の教材とは別の冊子に掲載した大きな理由であり、利点であると考えています。

(2) 自問と内省へと導き、道徳的思考を深める問い

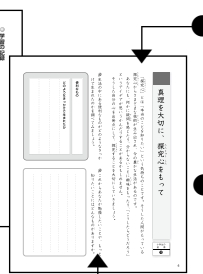
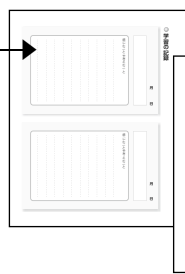
内容項目ごとに、その道徳的諸価値に準じた問いを掲載しています。この問いと向き合うことで、児童は、道徳的諸価値についての理解をもとに自分を見つめ、自己の生き方についての考えをより深めることができます。

(3) 記入したことのすべてが、児童の「心の記録」となる

道徳ノートへの記入内容は、そのすべてが児童の「心の記録」となります。児童は、折に触れて過去の記述を読み返したり、巻末の「心のしおり」を利用して自己評価したりすることで、自らをふり返って成長を実感したり、課題や目標を見出すことができます。また、巻末にまとめられた児童の授業時の記録や感想は、大きくくりなまとまりを踏まえて児童の学びを見取る際の手がかりとなります。

授業で活用できる
ノート欄

教師の指示で、記載内容を定めるなど、弾力的な活用が可能です。全35時間の授業の記録ができるよう書き込み欄を用意しています。

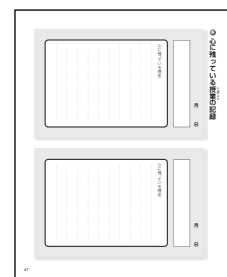


●内容項目の解説

発達の段階に応じた言葉で分かりやすく示し、道徳的諸価値の理解を確実にします。

●内容項目に準じた問い

道徳的諸価値の理解をもとに、自分を見つめ、道徳的思考をいっそう深めます。



●別冊ノート 記録欄

(4) 家庭や地域との連携を促す工夫

周りの人と関わりをもたせる問いを取り入れることで、道徳教育における家庭や地域との連携を促しました。また、教師のみならず、家の人にも見てもらったことを記録するチェック欄を設けることで、道徳ノートが、児童を中心に学校と家庭を結ぶ「かけ橋」となるよう工夫しました。

2 対照表

本教科書本冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	本冊 該当箇所	別冊 該当箇所	配当 時数
①	自分の番 いのちのバトン	生命の尊さ	p.4～6	p.22	1
②	バスと赤ちゃん	親切, 思いやり	p.7～9	p.8 p.13	1
③	草太と孝治 一二つのえがおー	友情, 信頼	p.10～15	p.11	1
④	うばわれた自由	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.16～20	p.1	1
⑤	法やきまりはだれのもの	規則の尊重	p.21～23	p.14	1
⑥	流行おくれ	節度, 節制	p.24～27	p.3	1
⑦	イチロー選手のグローブ	希望と勇気, 努力と強い意志	p.28～32	p.5 p.7	1
⑧	グラウンドにひびく声	個性の伸長	p.33～37	p.4 p.7	1
⑨	金曜日の班活動	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.38～41	p.1	1
⑩	はじめての実験 ー山中 伸弥ー	真理の探究	p.42～46	p.6	1
	科学者の姿勢から		p.47		
⑪	ーふみ十年	自然愛護	p.48～51	p.23	1
⑫	小さかったお返し	感謝	p.52～53	p.9	1
⑬	魚の世界	公正, 公平, 社会正義	p.54～55	p.15	1
⑭	半助の投あみ	相互理解, 寛容	p.56～59	p.12	1
⑮	かすみのハンカチ	正直, 誠実	p.60～63	p.2	1
⑯	礼儀作法にこめられた心	礼儀	p.64～65	p.10 p.13	1
⑰	だれも知らないニュース	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.66～70	p.1	1
⑱	ぼくの名前よんで	家族愛, 家庭生活の充実	p.71～75	p.17	1
⑲	日本のよさを知って	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.76～79	p.19	1
⑳	妹のカード	正直, 誠実	p.80～83	p.2	1
㉑	ちゃんとやれよ, 健太	親切, 思いやり	p.84～85	p.8 p.13	1
㉒	ぼくは伴走者	規則の尊重	p.86～90	p.14	1
㉓	その思いを受けついで	生命の尊さ	p.91～95	p.22	1
㉔	明日もまた生きていこう	生命の尊さ	p.96～100	p.22	1
	ゆみかへ		p.101		
㉕	くずれ落ちたたんボール箱	親切, 思いやり	p.102～105	p.8 p.13	1
㉖	銀のしょく台	よりよく生きる喜び	p.106～111	p.25	1
㉗	百一さいの富士 ー奥村 土牛ー	感動, 畏敬の念	p.112～115	p.24	1
	大いなるもの		p.116～117		
㉘	牛乳配り	勤労, 公共の精神	p.118～120	p.16 p.7	1
㉙	友のしょう像画	友情, 信頼	p.121～125	p.11	1
㉚	ヘレンとともに ーアニー・サリバンー	希望と勇気, 努力と強い意志	p.126～129	p.7 p.21	1
㉛	ごめんね, おばあちゃん	家族愛, 家庭生活の充実	p.130～133	p.17	1
㉜	時計台の鐘	伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.134～137	p.19	1
㉝	だれにでもある, こんな心	節度, 節制	p.138～141	p.3	1
㉞	木造校舎の思い出をむねに	よりよい学校生活, 集団生活の充実	p.142～143	p.18	1
㉟	明日をひらく橋 ー西岡 京治ー	国際理解, 国際親善	p.144～148	p.20	1
	西岡京治さんの残したもの		p.149		
特集	命とは, 生きるとは, どういうことなのだろう	生命の尊さ	p.150～151		下記
特集	わたしたちにできる ボランティア活動	勤労, 公共の精神 伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.152～153		下記
特集	守ろう インターネットの世界のルールやマナー	善悪の判断, 自律, 自由と責任, 節度, 節制 規則の尊重, 公正, 公平, 社会正義	p.154～155		下記
配当時数合計					35

・「命とは, 生きるとは, どういうことなのだろう」「わたしたちにできる ボランティア活動」「守ろう インターネットの世界のルールやマナー」は, 図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう, 配当時数に含めています。

・①～⑯については, 最も関連の深い学習指導要領の内容のみを示しています。

本教科書別冊の構成・内容と学習指導要領が示す「内容」の各事項との対照は以下の通りです。

図書の構成・内容		学習指導要領の内容		別冊 該当箇所	本冊該当箇所 (教材番号)	配当 時数
自分自身に関すること	自律的で責任ある行動を	主として自分自身に 関すること	善悪の判断, 自律, 自由と責任	p.1	④ ⑨ ⑰	3
	誠実に明るい心で		正直, 誠実	p.2	⑮ ⑳	2
	節度を守り, 節制に心がけて		節度, 節制	p.3	⑥ ③③	2
	短所を改め, 長所をのばして		個性の伸長	p.4	⑧	1
	より高い目標に向かってくじけずに		希望と勇気, 努力と強い意志	p.5	⑦ ③①	2
	真理を大切に, 探究心をもって		真理の探究	p.6	⑩	1
人との関わりに関すること	相手の立場に立って親切に	主として人との関わりに 関すること	親切, 思いやり	p.8	② ⑳ ㉕	3
	支え合いや助け合いに感謝して		感謝	p.9	⑫	1
	礼儀正しく真心をもって		礼儀	p.10	⑮	1
	友達とたがいに信頼し, 学び合って		友情, 信頼	p.11	③ ㉑	2
	けんきょに, 広い心をもって		相互理解, 寛容	p.12	⑭	1
集団や社会との関わりに関すること	法やきまりを守って	主として集団や社会との 関わりに関すること	規則の尊重	p.14	⑤ ㉒	2
	公正, 公平な態度で		公正, 公平, 社会正義	p.15	⑮	1
	公共のために役立つことを		勤労, 公共の精神	p.16	㉓	1
	家族の幸せを求めて		家族愛, 家庭生活の充実	p.17	⑮ ③①	2
	よりよい学校, 学級を求めて		よりよい学校生活, 集団生活の充実	p.18	③④	1
	伝統と文化を大切にし, 国や郷土を愛して		伝統と文化の尊重, 国や郷土を愛する態度	p.19	⑲ ③②	2
	世界の中の日本人として国際親善に努めて		国際理解, 国際親善	p.20	③⑤	1
生命や自然などとの関わりに関すること	自他の生命を尊重して	主として生命や 自然・崇高なもの との関わりに 関すること	生命の尊さ	p.22	① ㉓ ㉔	3
	自然の偉大さを知って		自然愛護	p.23	⑪	1
	大いなるものを感じて		感動, 畏敬の念	p.24	㉗	1
	生きる喜びを感じて		よりよく生きる喜び	p.25	㉖	1
特集	未来に夢や希望をもって	希望と勇気, 努力と強い意志/ 個性の伸長/勤労, 公共の精神	p.7		下記	
	思いやりって何だろう	親切, 思いやり/礼儀	p.13		下記	
	先人の生き方に学ぼう	よりよく生きる喜び/ 希望と勇気, 努力と強い意志	p.21		下記	
配当時数合計						35

「未来に夢や希望をもって」「思いやりって何だろう」「先人の生き方に学ぼう」は、図書の各内容と関連させて適宜使用いただけるよう、配当時数に含めています。

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学校	教科	種目	学年
30-132	小学校	道徳	道徳	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
232 廣あかつき	道徳 510 道徳 511	みんなで考え、話し合う 小学生の道徳5 自分を見つめ、考える 道徳ノート5		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容 や内容の取扱いに示す事項	ページ数
	なし		なし	
合計				